

水環境・湖沼（8） （2-B-13-1～2-B-14-1）

本セッションでは、湖沼における水環境に関する5題の発表が行われ、その内容はアオコ対策、またはアオコを形成する藍藻類である *Microcystis* 属の増殖におよぼす影響因子に関するものであった。

13-1 では、不織紙シートをアオコが発生した池に設置し、その後の Chl-a の減少と Chl-a と他の水質項目との相関を調査した結果が示された。本研究では、対照区が無かったことから、実験結果と浄化のメカニズム、不織紙シートの敷設量等について議論された。

13-2 では、*Microcystis* 属を部分遮光法により減少させる開放系のベンチスケール実験を行う際に重要な *Microcystis* 属の培養に関する実験結果を示すとともに、藍藻類と緑藻類の部分遮光実験を行った結果、藍藻類に遮光効果が見られたことが示された。藍藻類の培養手順、藍藻類の細胞が壊れるメカニズム、部分遮光実験に使用した水槽の構造が実験結果におよぼした影響について議論された。

13-3 では、サクラの枯葉から抽出されるタンニンの負荷量と *Microcystis aeruginosa* の増殖抑制効果との関係を示し、枯葉を用いた新しいアオコ対策手法について発表された。

引き続き 13-4 では、サクラの枯葉からタンニンおよびポリフェノールの水温等による溶出特性について示された。これらの発表については、サクラ以外の植物枯葉の適用可能性、サクラの枯葉が落ちる実際の湖沼等でアオコが抑制される現象が確認されているか、研究成果の適用方法等について議論された。

14-1 では、環境水中に混在する微量金属がフミン物質の *Microcystis* 属増殖への作用に対してどのような影響をおよぼすかについて実験結果等が示された。本発表については、実験に使用した溶存フミン物質として Swanee 川由来のフルボ酸標準物質で行った実験結果で結論付けてよいか等が議論された。

（フジタ・技術セ 島多 義彦）